

「興味のある職業について調べ、リーフレットで紹介しよう」

～文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む～

目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことに課題が見られました。そこで、本アイデア例では、この課題を解決するために、児童が興味・関心をもった職業について、調べたこととそこから考えたことをリーフレットにまとめ、紹介することについての指導事例を紹介します。なお、本アイデア例は、第5学年以上を対象としています。

授業アイデア例

単元「興味のある職業について調べ、リーフレットで紹介しよう」(全8時間)

学校や児童の実態、他教科等との関連を考えて、自分の趣味、クラブ活動、好きなスポーツなどを紹介すること考えられます。

〈主な学習活動〉

〈指導上の留意点〉

学習過程

第一次

自分が選んだ職業について調べ、リーフレットで紹介する

- ① 教師による職業紹介や職業に関する新聞記事の紹介、学校図書館担当職員等によるブックトークを聞き、職業について関心をもつ。
- ② 自分が選んだ職業について、調べたこととそこから考えたことをリーフレットにまとめ、紹介するための学習計画を立てる。

- 職業に関する新聞記事を紹介するなどして、課題意識を高めることができるようにする。
- 職業紹介やブックトークを行い、児童が学習に対する興味・関心を高め、学習に見通しをもって取り組むことができるようにする。
- 自分が選んだ職業について調べるために、次のことを確認する。
 - ・ 本の題名や種類などに注目したり、目次や索引などを利用して検索したりすること。
 - ・ どのような言葉や文に着目すればよいのかということ。

第二次

- ③④ 本問の【資料1】と【資料2】を読み、パン職人の仕事について調べ、特に心に残ったことを中心に自分の考えをまとめる。
- ⑤ パン職人の仕事について調べたこととそこから考えたことを必要に応じてペアやグループ、全体で交流する。

- 【資料1】と【資料2】だけでは必要な情報を得ることができない場合は他の本を探して読んでよいことを伝え、本の探し方について確認する。
- 調べたことと自分の知識や経験、考えなどを関係付けながら自分の考えをまとめることができるようにする。
- 必要な情報の取捨選択の仕方、調べたこととそこから考えたことのまとめ方などに着目して交流することで、自分の選んだ仕事の紹介に生かすことができるようにする。

第三次

- ⑥⑦ 第二次の学習を生かし、自分が選んだ職業について、自分が探した本などから必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を関係付けたりして、調べたこととそこから考えたことをリーフレットにまとめる。
- ⑧ リーフレットを基に、学級で紹介し合い、互いに感想を伝え合う。

- 第二次での学習を想起させ、自分の紹介したい内容について書かれた複数の本や文章を選び、内容を比べながらまとめることができるようにする。
- 調べる中で、新たな疑問をもったり、興味・関心をもったりしたことがあった場合は、他の本などを探す必要があることを確認する。
- 互いに紹介し合い、感想を伝え合うことで、自分の考えを広げたり深めたりできるようにする。

単元を通して、自分が選んだ職業について必要な情報が書かれた本や文章を読む

本授業アイデア例

活用のポイント!

- 児童が課題解決に向けて、複数の本を活用できるようにするために、学校図書館担当職員や公立図書館等と連携を図ることが大切です。
- 必要な情報を得るために本を探して読んだり、調べていくうちに新たな疑問がわき、別の本を探して読んだりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるようにすることが大切です。その際、調べたい言葉を別の言葉に置き換えたり、必要な情報の中から手掛かりとなる言葉を決め、それを基に検索したりするなど、目的に照らして必要な本や資料を児童自ら選ぶことができるように、低学年から意図的・計画的に指導することが必要です。

課題の見られた問題の概要と結果

B③ 将来なりたい職業について調べ、紹介する

〈職業「パン職人」〉

B③三 正答率 **53.2%** 「パン職人」について、紹介したい内容をまとめて書く

学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 C ウ

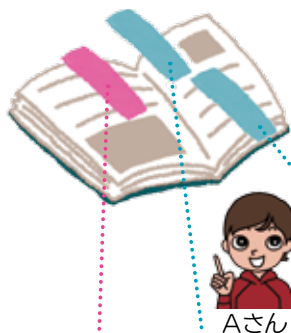
〔第5学年及び第6学年〕 B ウ

第二次③／8

パン職人について書かれた本を選んで比べて読み、必要な情報を付箋紙にまとめる

本や文章を読む際は、自分にとって必要な情報の中心となる語に着目させ、目次や索引、見出しなどを手掛かりにしながら情報を検索できるように指導します。例えば、「仕事内容」→「どんな仕事」、「～になる方法」→「～になるには」→「～への道」など、別の言葉に置き換えて、必要な情報を探そうとすることができるようになります。

ポイント



仕事内容やパン職人になる方法をもっと調べてみたい。ほかの本の目次にある「仕事内容」「～への道」などの言葉に着目して調べてみよう。



ほかの本でパン職人について調べていたら、「子供のうちにいろいろなものを食べることが大切」という見出しが気になって読んでみたよ。

第二次④／8

特に心に残ったことを中心に、付箋紙にまとめたことや本を読み返し、自分の考えをまとめる

〈調べて分かった事柄〉

焼き立てのパンが店にならび、お客様のうれしそうな声が聞こえた時は、パン職人をやっているのが実感する。



苦労と喜びが心に残ったから、「資料2」を読み直してみようかな。

パンを焼くだけでなく、お店を清潔に保つことやお客様の好みを考えた新商品の開発などといった仕事もある。



パン職人になるまでと仕事内容が気になるな。

パンを焼くことやお店を清潔に保つこと、さらには新商品の開発などといった仕事もある。



パン職人の仕事内容と今から準備しておくことが心に残ったわ。

〈考えたこと〉

パン職人は、毎日同じ味になるように作るおもしろさはあるけれど、焼き立てのパンが店にならび、お客さんに喜んでもらえる時にやりがいを感じることができる。仕事をする上で苦労はあるけれども、その分、喜びもたくさんあるということが分かった。

パン職人になるには、自分の思うとおりのパンを焼くだけではなく、お客さんの立場に立って仕事をするのが大切だと思った。それから、パン職人になるためには、いろいろな方法があることが分かり、パン職人になる道は一つではないことに気付いた。

子どものころから、いろいろなものを食べることで味のちがいが分かるようになるのではないかな。それが新商品の開発につながるのだと思った。それを確かめるためには、別の本で調べたり、パン職人に聞いたりしたらよいと思う。

第二次⑤／8

資料の取捨選択の仕方やまとめ方などについて交流し、自分の選んだ仕事の紹介に生かす

ぼくが調べている電車の運転手も、お客さんのことを考えて仕事をしていると思うな。「乗客」という言葉に気を付けてもう一度読み直してみよう。



Bさんの調べていた「今から準備しておくこと」は参考にしたいな。電車の運転手の場合も、今から準備しておいた方がいいことがあるかどうか、別の本も調べてみよう。

第三次⑥⑦⑧／8

自分が選んだ仕事を紹介する内容についてまとめ、紹介する

参照▶「平成28年度 報告書 小学校 国語」P.70～P.78,「平成28年度 解説資料 小学校 国語」P.52～P.59